

群馬県中小企業団体事務局長会 冬期研修会・懇親会

12月8日、前橋市・ホテルラシーネ新前橋において、(株)リンクス人事コンサルティング代表取締役で特定社会保険労務士の藺田直子氏を講師に招き、冬期研修会を開催しました。「賃金上昇時代における人材定着」をテーマに、若年層の価値観の変化に伴う経営層・上司に求められるマネジメントなどを解説いただきました。



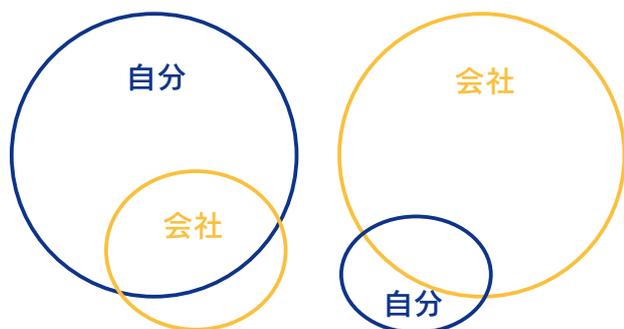
小林会長

小林幸次会長の挨拶の後、藺田氏による講演を開始した。

藺田氏は最初に、昨今の賃上げ傾向から「賃上げしないこと」が離職理由になる時代となった旨を述べつつ、賃金は「足りない」と不満につながる要因]である一方、多く

でも満足要因にはならないと指摘。賃上げ原資確保の観点からも業績向上が必須であり、そのためにも従業員の離職防止・活躍が重要であるが、多くの会社から「若年層がすぐに辞めてしまう」、「言われたことはやるのだが、それ以外はやらない」と悩みの声を聞いている旨を語った。

次いで、若年層は「会社を自分の人生の一要素」と捉える人が多く、会社が自分に合わない場合は転職を考える傾向にあると解説。40代以上の層に多く見られる「会社のために自分を変える」価値観とは、考え方が大きく変化していることを、図を描くワークを通じて伝えた(下図)。



2つの円で会社と自分の関係を描いたとき、20代に多い図(左)、40代以上に多い図(右)

こうした若年層の価値観を持つ従業員には、「居場所感」「貢献感」「成長感」を感じてもらうことが重要で、ビジョンを示すとともにマネジメントを従来の「管理」から「支援」へと移行する必要性を説いた。

そして、若年層の成長につながる業務の割り振り方や指示の伝え方、フィードバック、声の掛け方など、マネジメントに必要な考え方や手法を紹介した。



講師の藺田氏



来賓の馬場氏

研修後、懇親会を開催。下田元美副会長の挨拶の後、来賓の(株)商工組合中央金庫前橋支店・馬場正幸次長の音頭で乾杯。講師の藺田氏を交え、和やかな雰囲気の中で交流が図られる中、大澤伸一郎専務理事の中締めで閉会となった。



様々な情報交換を行い、懇親を深めた